



つがる市議会だより

9月定例会

- 定例会の概要……………1
- 平成24年度会計認定 ……2
- 一般質問……………3～6
- 予算・決算特別委員会……7～9
- 常任委員会の審査……9～10
- 議会改革レポート……………11
- 議会の動き……………12

▶第37号 平成25年11月 発行：つがる市議会 編集：議会だより編集委員会



つがる市指定文化財
公孫樹（いちよう）

つがるの四季・秋

市内の紅葉スポットのひとつ、銀杏ヶ丘公園（木造地区）のいちようの樹は約330年前、津軽4代藩主政公によりお手植えされたものです。現在幹の周囲約7m、高さ約25m。長く人々を見守り癒してきました。

主 な 可 決 議 案（平成25年度つがる市一般会計・特別会計補正予算）

- 平成25年度一般会計補正予算額 …… 10億5,957万3千円
補正後の予算額 …… 231億2,512万7千円
・緊急雇用創出対策事業委託料 …… 9,939万9千円
- 平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算額 …… 1,378万2千円
補正後の予算額 …… 6億3,452万円
- 平成25年度国民健康保険特別会計補正予算額 …… 4,468万8千円
補正後の予算額 …… 54億4,061万4千円
- 平成25年度介護保険特別会計補正予算額 …… 1,010万8千円
補正後の予算額 …… 42億4,382万8千円

9月定例会の概要

平成25年第3回定例会は、9月6日から20日まで、15日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成24年度つがる市一般会計補正予算案、決算認定、平成25年度つがる市一般会計補正予算案等、市長から提出された24議案と議員提出議案2件を原案通り認定・可決しました。

一般質問には、成田克子、長谷川榮子、成田博、伊藤良二、松橋勝利、佐々木直光、野呂司、三上洋議員の8名が登壇、市政の課題について当局の考えをたきました。

平成二十四年度各会計決算を認定

一般会計、特別会計本年度も共に黒字

9月議会では平成24年度各会計の歳入歳出決算認定について、全議員による予算・決算特別委員会において審査しました。

一般会計と特別会計の総計決算における歳入歳出差引額は6億6千284万2千396円でした。翌年度へ繰り越すべき財源3千70万7千151円を差し引いた実質収支

の額は6億3千213万5千245円の黒字決算となりました。

予算・決算特別委員会では予算が適正に使われたか、期待した成果が出たか市議会が市民に代わって審査し、審査の過程で指摘した事務の改善点や次年度予算編成への要望を市長に伝えます。

平成24年度 つがる市各会計歳入歳出決算

科 目	決 算 額		歳入歳出 差 引 額
	歳 入	歳 出	
一 般 会 計	23,569,431,031	23,102,803,478	466,627,553
特 別 会 計	11,599,124,492	11,402,909,649	196,214,843
農 業 集 落 排 水 事 業	608,834,222	608,650,767	183,455
公共下水道 事 業	612,874,385	611,039,903	1,834,482
国 民 健 康 保 険	5,518,816,679	5,333,137,659	185,679,020
後期高齢者 医 療	647,334,224	642,753,681	4,580,543
介 護 保 険	4,211,264,982	4,207,327,639	3,937,343
合 計	35,168,555,523	34,505,713,127	662,842,396
23 年 度	37,093,610,387	36,472,186,372	621,424,015
比 較	△1,925,054,864	△1,966,473,245	41,418,381

数字で見る市の財政健全度

財政力指数 0.23%（前年度比 横ばい）

自治体運営に必要な経費に対して自前の収入がいくらあるかを示す数値で財政の豊かさを表す。1に近いほど財政状況が良いとされ、1を超えると国からの地方交付税が不要になるとされています。

経常収支比率 85.8%（前年度比 0.3ポイント下降）

財政構造の弾力性に関する指標で、この比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいると言われ、80%を超えると弾力性を失いつつあると考えられています。

公債費比率 14.2%（前年度比 0.3ポイント下降）

公債費（市債の元金の返済や利子の支払い等）が一般財源に占める割合で、おおむね10～15%の間に分布するのが通常とされています。

起債制限比率 11.7%（前年度比 0.3ポイント下降）

一般財源のうち地方債の返済に充てる割合をさしており、15%を超えると要注意とされています。

実質公債費比率 15.4%（前年度比 0.9ポイント下降）

一般会計が負担する公債費とこれに準じる額の大きさを数値にしたもの。（早期健全化基準は25%です）

将来負担比率 163.7%（前年度比 5.2ポイント下降）

一般会計が将来負担すべき実質的な負債を指標化したもの。（早期健全化基準は350%です）

実質赤字比率

一般会計の赤字の程度を指標化したもの。（早期健全化基準は12.87%です）

連結実質赤字比率

地方公共団体すべての会計の赤字・黒字を合算して、地方公共団体としての赤字の程度を指標化したもの。（早期健全化基準は17.87%です。）

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は黒字のため、ともに比率の値はないものです。

主な可決議案

議案第71号

つがる市介護保険条例の一部を改正する条例

（延滞金の端数計算に地方税法に規定する金額を適用するほか、延滞金の割合に特例措置を講ずるため条例の一部を改正する必要があることによる提案）

議案第75号

つがる市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

（延滞金の割合に特例措置を講ずるため条例の一部を改正する必要があることによる提案）

議員提出議案

市議会の委任による市長の専決処分事項の指定について

（市長において専決処分することのできる軽易な事項について指定するための提案）

意見書

地方税財源の充実確保を求める意見書

議員提出議案として可決し、内閣総理大臣はじめ各大臣あてに提出されました。

一般質問要旨

ここが聞きたい



成田 克子
芳政会

・障害のある人の郵便等による不在者投票の簡略化について

問 本市の郵便等による不在者投票の該当者は何名か。

成24年、衆議院議員総選挙5人、本年7月の参議院議員通常選挙は4人となっております。

答 選挙管理委員会事務局長

郵便による不在者投票の該当者は3つに分かれており、身体障害者手帳を持ち障害1級、2級の方、また戦傷病者手帳を持ち高度の障害のある方、介護保険制度の中で要介護5に認定されている方となります。福祉部の把握によると、身体障害者手帳を持って両下肢、体幹移動機能障害1級、2級の方が413人、介護保険の要介護5の方は220人となっております。この要介護5の方々につきましては、施設に入所されたり、入院されている方がかなりの数に上っており、郵便投票制度ではなく、病院あるいは施設で実施する不在者投票を利用されているものと認識しているところです。戦傷病者手帳を持っているところ、戦傷病者手帳を持って両下肢、体幹障害のある方については、数名となっております。公表は控えます。

問 過去の公職選挙（国・県・市）における、郵便等による不在者投票数は。

答 選挙管理委員会事務局長

過去のそれぞれの選挙で実際には、平成19年、市議会議員選挙43人、同じく平成19年、県議会議員選挙9人、平成23年、県知事選挙6人、平

問 前述の数字が示すように重度の障害者の方々の選挙行動は閉塞的な状況であると感じている。公職選挙法と身体障害者福祉法並びに戦傷病者特別援護法により、重度の障害がある方は、郵便等による不在者投票が認められ、国政に参加する権利が守られているにもかかわらず、手続きが煩雑すぎるため、投票しない方も多いと聞く。手続きの流れは、始めに郵便等投票証明書交付の申請手続きをする。それにより選挙管理委員会から送付される郵便等投票証明書に署名、添付して投票用紙を請求。届いた投票用紙に候補者名を記入し、投票用封筒に3度目の署名後、選挙行きの封筒に入れて投函という

もの。障害者の方々の参政権行使のため、制度の簡略化がなされるよう気運醸成が不可欠と考える。選挙管理委員会委員長の考えを伺う。

答 選挙管理委員会委員長

障害者の郵便による投票の手続きが煩雑であることはご指摘のとおりであり重々承知しておりました。しかしながら、公職選挙法にのっとり行われているものであり、法を改正しない限り簡略化されたものにはならないと認識しております。



長谷川 榮子
無所属

・企業誘致について
・行政視察における担当職員の同行について
・太陽光発電の普及促進について

問 つがる市初の企業誘致について現在の状況をお聞かせ願いたい。

答 市長

県からの紹介で愛媛県松山市に本店がある株式会社DIOジャパンを誘致するこの計画は、市内を中心とした地域雇用を目的に50人の離職者を新規雇用するものです。初年度は国の緊急雇用対策事業を活用しながら、「つがるコンシェルジュセンター株式会社」を立ち上げる予定です。業務は、旅行・レジャー業界等の企業と業務提携し、情報提供や宿泊施設の予約受付等が主なものです。誘致場所は、木造の旧弘前高等技術専門学校を計画しており、改修工事終了までは柏公民館において業務を行う予定です。従業員の募集については9月4日からハローワークで求人を開始しており、新聞広告やチラシ等でも順次周知したいと考えております。

問 誘致した企業は数年で撤退する懸念はないのか。

答 経済部長

この会社は平成20年からコールセンターを各地に開設し、閉鎖した場所もなく継続されております。今後、ネットショッピング等も増えると思われることから需要も多いと考えております。

問 議員の行政視察の際に、担当課の職員も同行し、一緒に勉強すべきと考えがいかか。

答 総務部長

地方分権の進展に伴い自己決定と自己責任の原則に基づき、地域の実情に合った地方自治の構築が求められ、また、議会においても地域住民の多様な意思を反映した政策提案が求められております。このような状況にあって、地域の住民福祉向上に資する政策研究を実務担当者と共に進めていくという提案は大変有意義であると受け止めております。視察同行の他、議員視察後、担当職員を交えて政策研究の場を設けるという方法も考えられ、今後意見交換を進めて参りたいと思います。

問 太陽光発電装置設置補助金の市民の申し込みは何件か。また、公共施設への設置状況は。

答 総務部長

8月までに10件程度の問い合わせがあり、申請済みの方が1人、今後申請予定の方が1人となっております。公共施設では、つがる市農産物直売所（柏地区）に導入し、木造中学校の駐輪場にも取り付けております。クリーンエネルギーとして風力その他も含め、市として積極的に取り組んでいくべきと考えております。

※コンシェルジュとは…ホテル等で観光の手配や案内などを行う総合接客係

一般質問要旨

ここが聞きたい



成田 博
五和会

・市営地区小学校の統合について
・姉妹都市交流について

問 車力地区小学校の統合時期は。

答 市長

一昨年から教育委員会主体で地域住民と話し合いを進めており、統合の計画案に概ね賛同を得られたものと聞いております。市の重点施策と位置付け少しでも早く着工するよう関係部局へ指示したところであり、平成29年4月の開校を目指します。本年度においては、建設に関わる調査に着手してまいります。

問 建設までの具体的なスケジュール及び更なる環境整備案を示せ。

答 教育部長

現時点での建設スケジュール案ですが、本年度内で地質調査を行い26年度中に施設全体の基本設計、実施設計案をまとめる予定です。27年度から本格的に工事に着手し、校舎は27・28年度の2カ年の継続事業とし、屋内体育館については28年度での完成を目指します。29年4月に開校。同年度内に、現施設の解体、グランド整備工事、外構工事を経て、統合事業を完了するという計画内容です。

他に環境整備として、学校ブルーの建設も検討中です。通学路の拡幅については建設部と連携し、出来る限り地域住民の不安を解消していきたいと思っております。

問 姉妹都市交流についてそれぞれ締結年、現状と成果を伺う。

答 総務部長

国内の姉妹都市である北海道白老町とは、平成17年7月31日に姉妹都市提携を締結。小学生対象の交流に、これまで両市町合わせて500人余りが参加。互いの歴史や文化を学ぶことで相互理解を深めると共に団体行動を通じて思いやりの心を育むなどを目的に実施して参りました。加えて、両市町の特産物の即売会を開催するなど経済交流も継続的に行っております。柏市とは、平成17年7月23日に、ふるさと交流都市提携を締結。マラソン大会の相互参加、柏市まつりや道の駅での特産品販売等の経済交流の他、今年度はJリーグ柏レイソルの試合観戦も実施しました。子どもたちが夢を持ち視野を広げることに貢献していると感じております。

国外交流では米国メーン州バス市と平成18年7月6日に姉妹都市宣言書に調印し、これまで240人が相互訪問。豊かな国際感覚を養っております。今年度は旧車力村とバス市の姉妹提携から20年という節目でありバス市最大のヘリテージ祭で本市をPRし交流を図ったところであります。いずれの市町との交流も人材育成に大きな成果を上げていると認識しております。



伊藤 良二
芳政会

・市営住宅の建て替えについて
・除雪対策について
・少子化対策について 他

問 市営桜木団地建て替え工事の進捗状況は。

答 建設部長

現在、昨年度からの繰り越し予算で敷地造成工事を3工区に分けて発注しております。また、建物の実施設計も行っており、建築確認の承認後、住宅建設工事8棟33戸を発注予定です。冬期の工事でもあり年度内の完成は難しいと思われ、完成のめどは来年5月頃としています。その後の入居については、移転入居者23戸、新規入居者10戸で6月をめどに進めたいと考えております。

問 除雪の準備体制は万全か。特に通学路の安全確保を強く要望する。また、融雪溝を少しずつでも増やしていく考えはないか。

答 建設部長

除雪が始まる前の準備として直営の臨時除雪運転手の確保、除雪機械の整備、防雪柵の設置、排雪場の確保、除雪委託業者の決定等を行います。通学路の除雪は事故防止の観点からも大変重要であると認識しております。今年度から柏、稲垣、車力各地区に臨時運転手を1人ずつ増員（木造地区は昨年増員）し、通学に支障がないよう万全を期したいと考えております。

融雪溝の設置については本年3月の定例会にも請願が出され採択され

たところですが、その際、整備を進めていくための年次計画を策定して事業実施するよう意見が出されたところであり、道路側溝整備同様、国の補助事業で行えるよう年次計画を作成し、冬期間の暮らしの安全・安心を図るよう努めたいと考えております。

問 少子化対策としての子育て支援方策について担当部の考えを問う。また、計画には女性の声を大きく反映すべし。

答 福祉部長

昨年8月に子ども・子育て関連三法が成立し平成27年度から子ども・子育て支援新制度がスタートする予定です。これに伴い、つがる市においても子ども・子育て支援事業計画を平成26年度中に策定することとなっております。この策定に向け、本年度は保育所等に入所している幼児の保護者や、今後入所を予定している保護者あるいは就学児童の保護者を対象に生活実態、子育てや教育に関する意見、要望などニーズ調査を実施する予定となっております。この調査結果をもとにしながら、つがる市としても、よりよい子育て支援策を打ち出し、前述の子ども・子育て支援事業計画に反映させていきたいと考えております。

策定委員会には女性を多く登用し議論を重ねたいと思います。

一般質問要旨

ここが聞きたい



松橋 勝利
無所属

・つがる市民診療所の運営について

問 成人病センターの平成24年度年間外来者数と1日あたりの患者数は。また、つがる市民診療所では救急搬送を受け入れるのか。

答 総務部長 平成24年度の成人病センターの利用者数は、外来患者数が年間で5万5千591人で、1日平均で227人となっております。

救急車の受け入れですが、つがる市民診療所は入院病棟がないことから、重症患者等の救急搬入は受け入れることができず、つがる総合病院、鱈ヶ沢病院、金木病院へ搬送されることになると聞いております。

問 成人病センター並みの患者数があつた場合、対応は可能なのか。

答 市長 現在、広域連合において医師派遣について弘前大学大学院医学研究科との調整をすすめております。また、市としても広域連合と連携し、市民が安心して利用できる診療所となるよう引き続き働きかけていきたいと思っております。

答 総務部長 市民診療所の開業後は患者さんの状況によっては、中核病院への紹介が行われること等により、患者数の若干の減少が予想されるということでした。併せて、これまでの再三の要望の結果、常勤医師の他に週2回から3回

程度の非常勤医師を見込むことから、常勤換算で3人体制までもつていくよう検討していることです。また、午後診療を行うことになりましたので利用者の利便性も向上するものと考えております。

問 看護師や検査技師の体制は。また、調剤薬局はできるのか。

答 総務部長 広域連合では、外来患者数の見込みに基づき、看護師は常勤4人、非常勤6人の計10人、検査技師と放射線技師がそれぞれ2人、事務員5人の配置を考えているとのこと。薬剤師については、薬剤師が常勤換算で3人になった場合は薬剤師の配置が必要という法令のつとり、1人を配置する考えとのこと。調剤薬局については、診療所付近に2カ所開業の動きがあると聞いております。

問 診療所の出入口付近が交差点であるが対応を考えているのか。

答 総務部長 診療所の後方に出る道路（東北農政局津軽農業水利事務所がある方）を拡張する計画を進めております。自動車で来院した方にはできるだけそちらの方にお願いしたいと考えております。



佐々木直光
五和会

・つがる警察署の新築について ・新規就農者対策について ・介護制度の見直しについて

問 つがる警察署新築の計画があると聞くがどの程度まで進んでいるのか。

答 市長 県議会文教公安委員会の方針によれば、つがる警察署は施設の老朽化と狭隘度（きようあいど）が著しいと認められることから、今後整備計画を検討していくとの方向性が示されたところです。市としても、つがる警察署と連携し、なるべく早く進めていきたいと思います。

問 市内の新規就農者数及び新規就農後の離農者数をとらえているものか。新規就農者へは、市独自の支援とともに農業関係事業への参加を積極的に進めるべきと考えるがどうか。

答 経済部長 新規就農者数は、平成23年度5人、24年度10人、25年度は現在のところ12人となっております。この中の離農者はありません。市独自の支援としては、団体、営農組合に対する補助事業を行っております。各種事業に新規就農者が参加できるよう情報等を周知していきたいと考えております。

問 これまでのような親族による農業後継者だけでは農業、農地を守っていくのではないかと危惧する。市の考えを問う。

答 経済部長 将来的には農協、土地改良区、農業団体による第3セクターの設立が必要か

と思っております。水田は点在状態であり、大規模農家も農地取得の限界、集落営農にも大規模農家は参入できないなど現状を考慮すると、今後は農業団体なり農協が中心となって水田管理をしていく必要があると思います。今すぐに計画の策定は難しいですが、TPPも見据え総合的な農業振興の体系を作っていきたいと思っております。条例の制定も含め来年度から十分検討させていただきます。

問 介護制度の「要支援」部分について市町村事業へ移管の案が出されたが、サービスの低下や利用料金の増加及び市の財政への影響などをどうとらえているか。また、市町村に移行になった場合、要支援部分にもつと予算をつけ充実させることで、介護保険や医療保険の負担軽減につなげてはどうか。

答 福祉部長 市町村に事業が移管されても国、県の負担割合に変更がなければ市財政への影響はないものと考えております。現時点では、大臣が負担割合は現状のままとの認識を示しており、高齢者サービスも影響なく継続できると思われま。いずれにしても、国の動向を注視しながら、サービス低下を招かないよう施策を検討し努力していきます。要支援の方々が介護に移行しないよう対策をとる事は大変重要であると認識しております。幸い、当市は保健師数も多く、経験豊かな保健師が回想法（数人で昔の思い出を話しながら脳を活性化させる方法）といった事業を行っており、今後も特色ある活動で介護予防に努力していきたいと考えております。

※狭隘とは…面積が狭くゆとりがないこと。

一般質問要旨

ここが聞きたい



野呂 司
芳政会

・有害鳥獣の駆除について
・上下水道の整備状況について

問 カラスやアライグマなどの有害鳥獣の捕獲内訳、農作物や人及び工作物等の被害状況、猿出没時の緊急広報件数、猟友会等への依頼件数等を問う。また、被害の予防策は。

答 経済部長

8月末現在の市民からの依頼件数と捕獲数は、アライグマが依頼40件で捕獲13件、タヌキが依頼5件で捕獲も5件。アナグマ、蛇が各1件とともに捕獲。猿については依頼10件で捕獲はなしです。猟友会への依頼はカラスなど9件になっております。市の職員も2ヶ月で57回出动しております。被害件数は40件と昨年より2倍強増加しており、ほとんどがアライグマによるスイカの被害です。市では箱わなを貸し出して捕獲を進めております。猿による被害はまだ出ておりませんが、防災無線を活用して注意を呼び掛けております。

問 有害鳥獣対策は職員による対応では限界があると思われる。講習会で市民の知識、意識を向上させる等、地域ぐるみの対応が必要かと思うが今後の対策をどう考えているか。

答 経済部長

来年度以降パンフレットを作成し各団体に配布したいと思っております。猿については関係者との連携を密にする方針を考えるため、協議会を立ち上げ進めていきたいと考えています。

問 上下水道の整備計画の進捗状況は。

答 民生部長

上下水道の整備は平成30年度の竣工を目指しており、本年度末の進捗率は60・6

問 館岡地区及び未着工地区の下水道事業の今後の進捗は。

答 建設部長

汚水処理構想では館岡、大湯町、菰の3地区を1つの処理区として計画されており、都市計画区域外であり人口1千人以上の地区であることから、特定環境保全公共下水道により整備することになっております。次期着工の地区については財政状況や下水道加入率の見込みを考慮し判断していかねばならないと考えております。

問 下水道事業は建設や維持管理に大きな費用がかかる。財政負担を考慮し先延ばしにしていることもあるのか。財政局の考えを問う。

答 財政部長

財政負担があるものでも早急な整備が必要な事業は行います。ただ起債の償還時にどのような財政負担となるのか先々の影響を評価し、判断する必要があります。



三上 洋
芳政会

・つがる市10周年記念事業及び10年間の検証と未来への希望について

問 つがる市誕生10周年記念イベントなどの計画はあるか。

答 市長

記念事業については現在検討中であり、今年度中には計画をまとめたいと考えております。本市の魅力在市内外にPRできイメージアップを図れる事業、市の一体感の醸成や魅力あるまちづくり資する事業、旧町村地域の歴史や特性を再認識できる事業などを柱に、現在各部署において検討しております。

問 記念イベントのテーマとなる標語を小中高校生から公募するなど、市民と一体となるようなものにしてはどうか。

答 市長

記念事業は、できるだけ市民に参加いただけるようなものにしたいたいと考えており、ご提案のイベントテーマの公募についても参考にしながら検討を進めてまいりたいと思っております。

問 全国各地に存在するひらがな名の市町村による「ひらがな市町村サミット」なるものを開催するなど、日本全国を巻き込んだ記念事業を考えてはどうか。

答 総務部長

ひらがな名の市町村は現在全国に48あり、過去に9自治体が集まって

ひらがな市町村サミットを開催した実例がありました。つがる市の10周年記念事業の目的が、市の名称を広く知らしめる、活性化につながるという点であるので、ご提案のサミットも含め有効な方策について引き続き検討してまいりたいと考えております。

問 10周年を迎えるに当たり過去を振り返り、今後どのような行政運営をしていくのか。

答 市長

合併当初から「新田の歴史が彩る日本のふるさと」を基本理念としてまちづくりを進めてまいりました。つがるブランドを発信し農産物の貯蔵設備や直売所の整備、学校統合や校舎建設など教育環境の向上、住宅や健康増進施設の整備、また、子ども医療費全額助成や胃がん撲滅検診事業も行っていました。一方、定員適正化計画の実施、公共施設の統廃合や民営化などにより行財政改革にも取り組んでまいりました。しかし、少子高齢化や地方分権、環境問題、普通交付税の合併特例措置の終了など、課題は山積しております。節目の年を新たな飛躍の年と位置付け、市の将来を見据えた事業を今後展開し、市民の皆様が安心して生活し希望が持てるまちづくりに全力で取り組んでまいりますのでよろしくお願致します。

総括質疑

今定例会では伊藤良二議員による総括質疑が行われました。

①平成24年度決算の健全化判断比率と各財政指標②平成25年度予算の公債費残高、財政調整基金、減債基金の額及び各基金の総額③今後の財政見通し等の質問がありました。

これに対し財政部長から、25年度の公債費残高については、1億2千万円ほど補正され462億3千700万円となる見込み。基金については、財政調整基金が5億7千737万9千円追加補正され22億3千545万5千円、減債基金は、2億2千万円追加補正され16億8千873万8千円になる見込み。

今後の見通しについては、平成27年度から普通交付税が減らされ、その5年後には24億円ほど減額になることが明らかのため減額分には前述の2基金で対応するものであり、更なる積み増しを考えている。歳入確保

に万全を期すが歳出も削減し、後の世代に大きな負担を残さないよう、身の丈に合った予算規模で堅実な財政運営をしていくことに努力すべきであろうと考えている等の答弁がありました。

①の質問については2頁参照。

予算・決算特別委員会の審査



委員長
佐々木直光

議案第77号

平成25年度つがる市一般会計補正予算(第4号)

問 松橋 勝利 委員

固定資産税の過誤納付還付金の最高額は。また、還付の利息は何%か。

答 財政部長

還付額の幅は1万円台から88万円台まである。利息については、過去5年分については、法定の4・3%、4・5%、4・7%の3種類で計算している。5年を超える分については

民法に規定している5%を一律に採用している。

問 松橋 勝利 委員

今回の誘致企業に関わる緊急雇用補助金の内訳は。

答 経済部長

主な内訳は、人件費が総額5千万円程。コールセンターのシステムリース料や、机等のリース料が4千200万円程となっている。今回の補正は3月までの分であり、4月から9月分までを新年度予算で計上の予定。

問 佐藤 孝志 委員

ぎんなん荘の指定管理に向けた公募スケジュールは。

答 福祉部長

募集要項を8月中旬に配布し、9月10日、現地説明会を開催した。今後、質問の受理・回答を得て、申請の受け付けは10月下旬となる。11月上旬に選定委員会を経て決定され、市長の決裁後12月議会に上程する予定となっている。

問 佐藤 孝志 委員

ぎんなん荘指定管理者の応募資格について、法人格の要、不要の規定は。また、管理期間は何年と考えているか。入所の可否は指定管理後もこれまで同様の方法で行われるのか。

答 福祉部長

応募資格は、市内に住所を有する社会福祉法人で、入所系の老人福祉施設の運営実績があることと限定している。理由として、お年寄りが、ぎんなん荘(養護老人ホーム)から特別養護老人ホームに移らなければならなくなった場合、前述の条件の施設であれば、流れがスムーズであり、また、有資格職員も多いと考えられることからそのような定めたもの。

指定管理期間は3年を予定している。

入所の可否については、これまでどおり判定委員会

で決定される。

問 佐藤 孝志 委員

森田中学校への道路改良として当初予算に1千1

50万円を追加計上した工事の内容は。また、この坂道下の民家が、集中豪雨時、側溝幅が狭いこともあつてたびたび床下浸水になっている。今回の工事に合わせて対策を望むがどうか。

答 建設部次長

工事の概要は、この道路が急こう配のため、特に冬期間、滑りやすいことから、融雪施設を施工するもの。今回は地熱を利用したものを採用。施工費用は高額となるが、電気代、ポンプ修理費等が発生しないことから維持費が一切からないという利点がある。

当該民家の床下浸水については把握している。県道から中学校への進入路部分を今回の工事で全てグレーチングに取り換えることで県と協議している。

問 長谷川榮子 委員

今回の誘致企業についてハローワークには現在どれくらいの応募があるのか。募集の窓口を出張所等も含め市内にも設けるべきではないか。

経済部長

答 現時点（9月11日現在）での応募は8名と聞いている。市民に対する求人情報については新聞の折り込みチラシを予定している。

成田 昭司 委員

問 亀ヶ岡遺跡、田小屋野貝塚の市有地化における移転、買収は現在どのような状況か。最終年度はいつ頃と考えているか。また、石神遺跡の状況は。



教育部長

答 亀ヶ岡遺跡については、取得面積15筆、7千㎡を市有地にしていくということで進んでいる。田小屋野貝塚については、今年度4筆、約2千800㎡を予定し地権者と交渉中の状況。平成28年度を最終目標年度としている。

石神遺跡については、国の史跡指定を受ける必要がある。これまでの成果、調査結果の報告書を取りまとめ文化庁へ申請し認定されると史跡指定を受けられ、市有地化を進める場合に補助が採択となる。

議案第82号

平成24年度つがる市一般会計歳入歳出決算の認定を求めるの件

木村 良博 委員

問 民生費雑入の収入未済額1千333万円の内容は。

福祉部長

答 生活保護の受給者が収入がありながら申告しなかった場合、返還を求めるが、請求の時点では資産も収入もないということと返済されなかった30件分。督促状況としては、毎年督促状を発送するほか、ケースワーカーが電話で催告したり訪問して徴収に努めている。また、受給中の方に関しては、窓口払いとし、その際に少額ずつでも返済していただくことにしている。

議案第81号

平成25年度つがる市介護保険特別会計補正予算（第2号）

成田 昭司 委員

問 介護認定された場合すぐに入所できる体制になっているのか。

福祉部長

答 今年度、29床のグループホーム3棟が新たに稼働し、また、特別養護老人ホーム（県の事業）も市内で60床増床する予定であることから待機者は減ってくるかと認識している。

と言えるが、受給者を減らすための方策として、昨年度からハローワーク職員OBを雇用し、働ける年代でありながら生活保護を受給されている方々に仕事の紹介や面接の練習等を実施している。数名だが就職し保護を離れた例もあり、今後も継続していきたい。

市内2地区のみの配分に終わったことについての見解は。

経済部長

答 ポイント制による採択であり、その要件として5項目がつがる市にとって不利な内容に変更となっており、見込み違いを深く陳謝したい。

木村 良博 委員

問 経営体育成対策事業の申込数と認定数及び当初、市に配分された金額は。

経済部次長

答 24年度については188経営体の申し込みだったが当初予算では配分にならなかった。24年11月頃、追加配分の要望調査（25年度春作業分）があり補助金ベイスで4千506万3千円が配分になった。

経済部長

答 来年度はご指摘の点を踏まえながら進め、また、市の段階で採択の可否を判定した上で県に申請したい。農家と一体となった取り組みについても努力する。

成田 昭司 委員

問 生活保護の見直し論が出ている。当市の方策を伺いたい。

福祉部長

答 国の制度なので市として見直すということはない



とのことだがどのようなものが含まれるのか。

答 福祉部長

新型インフルエンザ、人に感染する鳥インフルエンザ、サーズ等であるが今後、広範囲に流行する新たな感染症等も想定している。

建設常任委員会



委員長
木村 良博

議案第72号

つがる市農業集落排水処理施設条例等の一部を改正する条例

（農業集落排水処理施設使用料、公共下水道使用料及び都市計画下水道事業受益者負担金に係る延滞金の端数計算に地方税法に規定する金額を適用するほか、延滞金の割合に特例措置を講ずるため、条例の一部改正をする必要が生じたことによる提案）

問 成田 昭司 委員

未納金徴収対策はどの

ようになっているか。

答 下水道課長

口座振替にならなかった場合、納入通知書を添付して振替不能をお知らせし、支払いのない場合は督促状を発送後、未納者の自宅へ出向いている。基本的には収納課で徴収、管理しているが、出来る限り下水道課も同行し徴収に努めている。

議案第73号

つがる市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

（道路占用料に係る延滞金の割合に特例措置を講ずるため条例の一部改正の必要が生じたことによる提案）

問 三上 洋 委員

第72号条例と延滞金の税率が違う理由は。

答 建設部長

道路法施行令で規定されておられ、本条例にはそれに基づいた税率を用いている。

を改正する条例

（市営住宅使用料に係る督促手数料及び延滞金に関する条項を廃止するための提案）

問 長谷川 榮子 委員

住宅使用料の収納率は。

答 建設部長

平成24年度分については96・25%、滞納繰り越し分は15・82%、総額では81・96%となっている。

その他の意見

今回の委員会では、その他として次のような意見が出され、本会議において執行部に伝えられました。

議員説明会において報告されたが、無届け下水道工事が多数発覚し、更に職員のシステムへの入力漏れに伴う未請求も判明している。下水道事業の公平性を保つためにも、指定業者、職員双方の処分について早急に対応すべきと考える。

第2回臨時会

集出荷水温貯蔵施設建設工事請負契約ほかを審議

平成25年8月6日、第2回臨時会が開催され次の2議案が可決されました。

可決内容

議案第65号

平成25年度つがる市一般会計補正予算（第3号）

歳入	454万円	
過疎地域等自立活性化推進交付金		450万円
財政調整基金繰入金		4万円
歳出	454万円	
過疎地域等自立活性化推進事業		454万円

議案第66号

工事の請負契約の件

- ・ 集出荷水温貯蔵施設建設工事
- ・ 建設場所 つがる市車力町屏風山内
- ・ 請負代金 4億2千万円（消費税込み）
- ・ 契約の相手方 株式会社伊藤鉦業

行政視察来庁

- ・ 胃ガン撲滅検診（ピロリ菌検診）について
- 8月7日 秋田県 北秋田市議会 1名
- ・ 各種収納金の徴収体制一元化について
- 10月17日 岩手県 紫波町議会 8名

議会改革 レポート

第6回つがる市議会改革検討特別委員会会議の結果を報告します。

【平成25年9月5日開催】

- 1 議長交際費について
ホームページに掲載した平成25年4月～6月分の内容を報告した。
※交際費は3カ月ごとに掲載する。
- 2 税納付状況報告の閲覧請求について
閲覧請求者数 5人
- 3 青森県内の議会改革状況について
県内9市議会の現状をふまえ、ホームページでの会議録公開を協議・決定した。



第1回 ゆるキャラ相撲大会 スタッフでがんばりました!

去る9月15日に開催されたゆるキャラ相撲大会（名誉会長福島市長）は広報紙等でも紹介されたとおり、雨天にも関わらずおおいに盛り上がりしました。この大会のスタッフとして当市議会議員も加わっていました。ビラ配りやポスター貼りから会場づくり、当日のゆるキャラ力士の誘導、後片付けまで、まさに手作りのイベントにボランティアで参加。議員からは「ゼロからのスタートだっただけに苦労も多かったが達成感も大きい」という声が聞かれました。子どもたちをはじめ観覧者に夢と喜びをプレゼントし、地域の活性化にも貢献したイベントとなりました。

賞状を受け取る
つがるちゃん



がつぷり四つに組む
アップリット君とつるりん

議員研修会 で学ぶ



10月7日、青森市において開催された青森県市議会議員研修会に参加。

研修内容は当市議会でも取り組んでいる議会改革についてであり、明治大学政治経済学部の牛山久仁彦教授の講演を拝聴しました。

台風18号

大雨の被害大きく

被災された皆様には

心からお見舞い申し上げます。

9月17日、経済常任委員会と建設常任委員会は市長、議長と共に大型台風18号の接近による岩木川の増水で冠水したリング園や水田を視察し農家の方々の声を伺いました。また、9月20日には経済常任委員長から執行部へ全議員に対する現状の説明要求を行い、議会終了後の全員協議会において20日現在の被害額や対応策についてただし、農家の声を伝えました。市長からは他市町村、県、JA等と連携し調査、対応をしていくという方針が示されました。今後とも逐次、調査報告や対策方針を聴取しながら農家の要望を伝えていくことに致します。



これまでの議会の活動の一部を紹介します（議長・副議長・議員団）

8月1日	柏福祉まつり・桑寿園まつり
2日	首都圏トップセールス〔3日まで〕
3日	チェスボローカップウェルカムパーティー
6日	平成25年第2回つがる市議会臨時会
7日	行政視察来庁 北秋田市議会
10日	メロン・スイカフェスティバル
15日	つがる市成人式
17日	JOMON亀ヶ岡遺跡まつり、かしわ盆踊り
19日	つがる市ボランティア連絡協議会「車いす体験活動」 津軽道シンポジウム
31日	上原げんと先生を偲ぶ会・上原げんと杯争奪のど自慢大会
9月1日	馬市まつり馬ねぶたパレード・新田火まつり
3日	つがる市福祉顕彰式、議会運営委員会
4日	青森県母子寡婦福祉大会
5日	議会改革検討特別委員会
6日	平成25年第3回つがる市議会定例会開会
8日	自殺予防講演会
9日	定例会一般質問〔10日まで〕
11日	予算・決算特別委員会〔13日まで〕
17日	総務常任委員会・建設常任委員会
18日	教育民生常任委員会
19日	車力集出荷氷温貯蔵施設建設工事安全祈願祭
20日	平成25年第3回市議会定例会閉会 秋の全国交通安全運動つがる市交通安全のつどい
24日	誘致企業基本協定調印式
28日	津軽まほろば会定期総会
10月7日	青森県市議会議長会議員研修会
12日	つがる市社会福祉大会
15日	米陸軍車力通信所Xバンドレーダー視察
16日	全国市議会議長会基地協議会東北部会ブロック会議
17日	行政視察来庁 岩手県紫波町議会
22日	議会改革検討特別委員会
23日	総務常任委員会・教育民生常任委員会行政視察〔25日まで〕
28日	議会改革検討特別委員会行政視察〔29日まで〕
31日	東北議長会理事会

8/19 車いす体験活動



中学生をはじめとする参加者が議場をチェック。山本議長、小笠原議員も参加しました。

9/1 馬市まつり馬ねぶたパレード



今年も天候に恵まれ大いに賑わいました。議員団も盛り上げに一役買いました。

議会を傍聴してみませんか

どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。（庁舎3階議会傍聴者入口で、傍聴証に住所、氏名、年齢をご記入ください）

《次回定例会予定》12月



白老町からの子ども達6名



議場を見学するバス市のみなさん

今年も姉妹都市と交流

7月31日、姉妹都市交流で当市に滞在中の米国バス市民と白老町の小学生が議場を見学しました。バス市民は活発に質問し、また、白老町の小学生は議長席からの眺めを楽しむなど非日常を体験していました。

編集後記

ひと昔前は、雨が降れば恵みの雨で、気持ちよく感じていましたが、ここ最近の雨はゲリラ豪雨と称して全国的に観測史上最大の降雨量をもたらし、洪水や土砂災害、家屋浸水により生活を脅かしております。

畑に行くといふ草花が少なく、昔前に生えていた草花が一杯に広がり、昨年あたりからはアライグマも増え農作物に被害を与えております。溜池では昔よく捕れたエビやフナが姿を消して、雷魚、ブラックバスなどが目立ちます。どこもかしこも外来種が席巻し、なにか今の時代を現しているような気がしてなりません。TPP参加が同じような結果をもたらさない事を祈ります。

（木村記）

■市議会だより編集委員会
委員長 野呂 司
副委員長 佐々木 直光
委員 佐々木 良博
委員 木村 徹
委員 長谷川 忍
委員 小笠原 秀徳
委員 村上 慶和
委員 佐々木 幸洋
委員 平川 豊
委員 齊藤 良二
委員 伊藤 良二